

## 放送設備について

副校長 千葉一雄

教育後援会の皆様、いつも本校の教育にご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。本年度は、校内放送設備の機器購入とその設置工事に使わせていただきました。

小中学校・高校では生徒への下校時間を知らせる放送が行われていますが、本校では数年前の放送設備の改修工事により、それまでの機器が対応しなくなり放送できなくなっていました。

また、文部科学省より示された運動部と文化部のクラブ活動の在り方に関するガイドライン等により、生徒の安全確保、生徒の心身の健康管理と事故防止を図るため、生徒の下校時間とクラブ活動等の時間を明確にして、生徒に下校時間等を知らせることが必要となり、そのための放送設備を設置することが出来ました。今後とも、生徒の学校での活動の改善・発展に取り組

んで参りますので、これからも皆様方からのご後援よろしくお願いたします。



デジタルプログラムチャイム (JVC PA-DT600)

## 弟燕祭バザー

今年度も弟燕祭(文化祭)で、恒例の「教育後援会主催バザー」を開催いたしました。今年度の弟燕祭は台風の影響で1日目中止となったため、バザーも2日目の14日(月・祝)1日みの開催となりました。1号館1階ロビーのバザー会場は、皆さまからご提供いただいた品物

でいっぱいでした。1日みの開催で心配しましたが、思いのほかたくさんのお客さまがお越しくださり、多くの品物を売り上げることができました。一部、残った品物がありますが、大切に保管して、来年度のバザーで活用いたします。売上金額は、2日間開催したここ数年の金額には及ばなかったものの、154,921円と多くの金額を集めることができました。



品物を提供して下さった皆さま、当日購入して下さった皆さま、厚く御礼申し上げます。

これまでもバザーの売上金を活用し、除細動機(AED)の設置や、教材用の車椅子、レスキューセットの購入など、生徒の安全や教育活動に役立つ物を寄付させていただいております。今年度の売上金も学校と相談の上、今後活用させていただきます。



教育後援会だより第21号 令和2年3月3日発行

東工大附属高校教育後援会 発行人 伊本 淳平

オフィシャルホームページ <http://tokodaihuzoku-koenkai.com>

制作・印刷 株)あおむし <http://www.aomushi.com>

## 教育後援会だより

第21号  
2020年  
3月3日発行

### 自然災害時に思うこと



教育後援会会長 伊本 淳平

生徒の皆様、保護者の皆様におかれましては、いつも教育後援会の活動にご理解と多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

詳細は5月の総会にてご報告致しますが、令和元年度に於きましても、皆様より頂いた助成金がほぼ例年並みの額を維持でき、全額高校に寄付致しました。バザーの売り上げに関しましては、昨年の台風19号の影響で弟燕祭の開催期間が短縮されたため前年度に比べれば少なかつたものの、例年にせまる額を達成できました。これもひとえに皆様(教育後援会役員の方も含め)のご協力のおかげであり、重ねて御礼申し上げます。

また台風19号に於きましては、被害に遭われた皆様によりお見舞い申し上げます。

この台風が関東を直撃した夜には、自宅近くの相模川も一時は上流の城山ダムが緊急放流する為に決壊の恐れがあり、避難勧告のエリアメールがひっきりなしに届きました。その夜は明け方まで気象衛星ひまわりのリアルタイムウェブサイトにて台風の現在位置を、CATVの河川監視カメラで相模川上流の様子を、更には国土交通省の河川水位サイト(こちらは残念ながら途中でサーバダウンしたようですが)で予測水位を常に確認し、いつでも避難所に行ける様に準備していました。結果的には、自宅近隣は何事も無く台風は通過しましたが、残念ながら他の多くの地域でたくさんの方々が、家屋などが犠牲にられました。

日本は技術大国ですが、いまだに絶えることが無い自然災害に対して完全な防御策を講じることが出来ていないのが事実です。また完全な防御策など無いかもしれません。

昔に比べれば、スーパーコンピュータの数値解析によ

って台風の進路予測は格段に精度が向上し、衛星技術、画像処理能力の向上により赤道付近の台風発生直後から状況を捉える事が可能になりました。また、様々な気象予報・注意報の携帯電話への適宜送信や、インターネット上での注意喚起、情報共有技術も格段に進歩しています。更に、治水ダムの建設や河川の護岸工事、首都圏外郭放水路調圧水槽(地下神殿)の建設などハード面での整備も進んでいますが、どれもまだまだ十分とは言えません。

月並みな言い方ですが、自然の前で人間の存在は非常にちっぽけで、克服するなどの過信は決して許されませんが、古より先人が行って来た様に(徳川家康が利根川の付け替えなどの治水工事により江戸を守った様に)科学技術によって自然災害の被害を小さくする努力は決して怠ってはいけませんし、災害からの復興にも高度な技術は欠かせません。

在校生の皆さんが現在学んでいる科学技術は、将来誰かの命を救うことになるかもしれませんし、復興時の住民の心の支えになるかもしれません。どんな形でも良いのですが、皆さんには人のためになる技術者や経営者になって欲しいと願います。後援会はいつでも皆さんを応援しています。

今後とも教育後援会へのご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

# 出会い、そして夢の実現へ…

2014年 応用化学分野卒 栗原 健吾



## ● 自己紹介

初めまして。私は2014年3月に応用化学分野を卒業した栗原健吾と申します。私は附属高校を卒業後、1年間の浪人生活を経て福島県立医科大学医学部医学科に入学し、現在医学部5年生です。私は未だ学生ですが、高校生活や浪人生活、大学生活など振り返り、少しでも在校生の皆様のお役に立てばと思っています。

## ● 高校時代

高校生活では、部活動が真っ先に思い浮かびます。私はサッカー部に所属していて、週6日、練習や試合をしていました。サッカーは初心者でしたが、監督・コーチの熱心なご指導のおかげで、レギュラーとなり3年生の時にはキャプテンを務めさせて頂きました。練習がハードということもあり、同級生も始めは20人程度いましたが、最後に残ったのは私を含め5人でした。その時のチームメイトとは今でも頻りに飲みに行くほどの仲です。3年間の部活動の中で、何度も心が折れそうになりました。しかし、最後まで続けたことが、今後の私の人生において糧となると思います。



学習面に関して、応用化学分野では2年時から課題研究がありましたが、正直なところ、当時の私は研究にあまり興味がなかったため、応用化学分野の先生方、班員には多くの迷惑をかけた事を覚えています。しかし、今思うと研究をされている先生方から直接指導を受け、高校生の中から研究することができるのは、大変貴重な経験であったと後悔しています。

試験勉強に関しては、部活中心の生活であった為、試験前の期間しか勉強出来ず、成績も下層であったことを記憶しています。幼い頃は医師を目指していたのですが、中学生頃には諦め、高校時代も特に夢がなく、勉強をするモチベーションが全くありませんでした。気づいた時には、大学受験が迫っており、周りは指定校推薦や一般公募で大学が決まった生徒が多く、とても焦っていたことを覚えています。結局、センター

試験も満足な成績が残せず、センター利用や国公立理工学部の前期・後期試験ともに不合格、挙げ句の果てには滑り止めの私立理工学部も不合格でした。そのため、私は浪人する事となりました。

受験では結果を残せなかったものの、生徒たちは皆、個性豊かで、卒業後はそれぞれ異なる進路に進むため、かけがえない繋がりができました。

## ● 浪人時代

私は予備校で浪人生活を送りました。浪人生になったことで、人生でこれ程勉強した事がないというくらい勉強しました。その甲斐もあり、成績も向上し、幼い頃の医師という夢が再び蘇って来ました。その為、最初は東京工業大学進学コースに進みましたが、途中で医学部進学コースに変更しました。勉強漬けの毎日でしたが、絶対医師になるという強い思いがあったため、乗り切る事ができました。しかし、浪人生の時のセンター試験も自分の納得のいく点数ではありませんでした。医学部医学科の1次選抜(俗に言う足切り)も危ういような点数でしたが、その時に背中を押してくれたのは現役の医師の先生でした。「センター試験が悪くても、医師になりたいという強い気持ちがあれば2次試験で挽回できる」先生のその言葉を信じ、センター試験から2次試験までの約1か月間、死に物狂いで勉強した事を覚えています。その甲斐あって、福島県立医科大学医学部医学科に合格する事ができました。

浪人時代に会った現役医師の先生とは、今でも頻りにお会いしています。私は医者家系ではない為、医師とはどうあるべきか、医師になる上で必要な事は何かなど色々教えてもらっています。もしあの時、先生と出会っていなかったら自分は医学部に進んでいたのだろうかと思うと、出会いの大切さを実感します。

## ● 大学時代

大学入学時、「勉強についていけないのか」、「留年してしまわないか」など不安がありました。大学生活が始まると、その思いは払拭され、勉強や遊びを両立させた楽しい学生生活を送っています。

私の通っている大学では、1年生の時に一般教養科目をメイ

ンに学習し、1年生の終わり頃から解剖など基礎医学の勉強が始まります。3年生の頃からは臨床医学の勉強が始まり、4年生の後期からは実際に大学病院に出て、病院実習を行います。6年生の2月に医師国家試験があり、合格すると医師免許が取得できます。

少しだけ私が通っている大学のある福島県の宣伝をさせていただくと、お世辞にも都会と言えない場所ですが、人情があり、自然豊かで、ご飯は美味しいところです。勉強や研究、部活をするには恵まれた環境だと思います。



福島県立医科大学

## ● 今後の目標

私は将来、脳神経外科医になることを決意しており、日々勉強に励んでいます。脳は複雑で難しい臓器ですが、その反面、神秘的で手術もとても面白いです。脳神経外科には様々な分野がありますが、私は特に頭蓋底腫瘍の手術をしたいと思っています。術者として活躍できる様、研鑽を積んでいきたいと思っています。

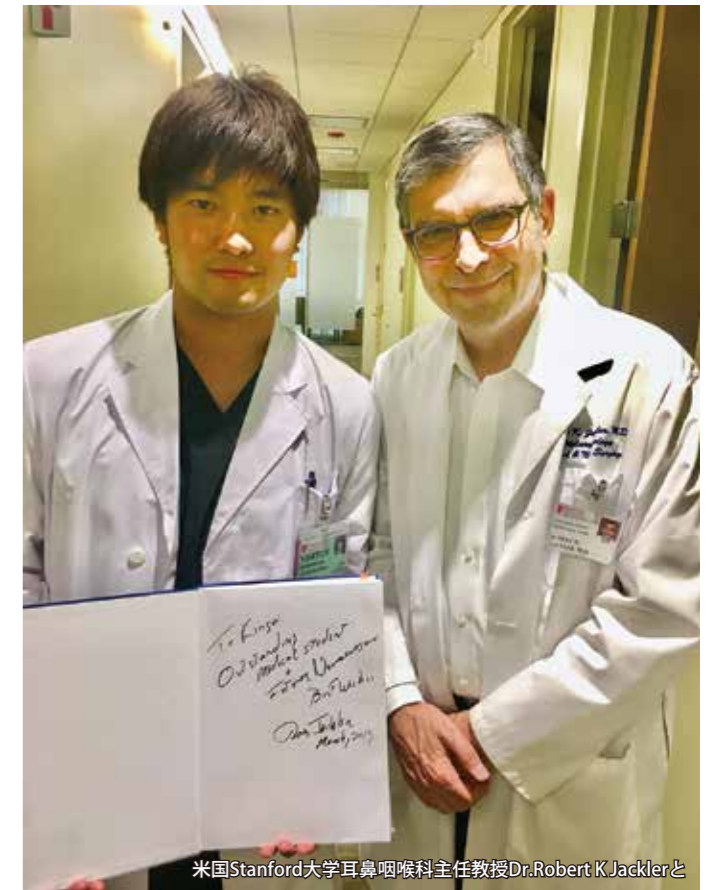
夢を実現させる為、昨年3月には、米国のStanford大学の耳鼻咽喉科、脳神経外科に短期留学をしました。そこでは、米国での脳腫瘍の手術や医療のシステム等を勉強してきました。症例の多さや規模の大きさなど、驚かされる事が多く、この経験を通じて将来自分も米国で脳外科医として働きたいという想いを抱きました。現在は学生のうちに米国の医師免許を取得する為、日々勉強に励んでいます。

## ● 在校生の皆さんへ

私が一番お伝えしたい事は、フットワークの軽さを持つ事です。学生時代は勉強に部活と忙しい日々には感じますが、社会人に比べて時間も有り、責任もあまり無いので、限られた時間



米国CaliforniaにあるGolden Gate Bridge



米国Stanford大学耳鼻咽喉科主任教授Dr.Robert K Jacklerと

内で色々な場所に行き、様々な事を吸収すべきだと思います。そこでの出会いはとても面白く、様々な方との繋がりを作ることができます。米国に行った際も、様々な業種の方と交流し、今でも連絡を取り合う関係を築くことができました。失敗した時の事を考えず、まずは行動するのが大事だと思います。やらないよりやった時に生じた後悔の方が、学ぶ事はとても多いと私は感じております。

私はまだ短い人生しか送っておりませんが、浪人生活の1年間で人生が変わりました。高校生の時は全く医師という選択はありませんでしたが、1年間浪人した事で自分を見つめ直すことができ、一度は諦めた夢に再度挑戦する事ができました。実際に30代、40代で医学部に入学する人もいますし、やりたい事が見つかった際に行動を起こす事が大切だと思います。

まだまだ時間はあると思いますので、様々な方と交流して、人生の分岐点に差し掛かった時の選択に活かしてください。



米国Stanford大学医学部附属病院

## ～脳の活性化に必要なビタミンB1、B12～

シェフ：大塚 義夫

栄養素の働きを高める、潤滑油の働きをするのはビタミンです。ビタミンが不足すると疲れやすい、意欲が無い、怒りっぽい、興奮しやすいなど肉体的、精神的に不安定な状態になります。

ビタミンには水に溶ける水溶性と脂に溶ける脂溶性があり、ビタミンB群は水に溶けるビタミンです。ほとんどのビタミンは体内でつくることができないので、食事から摂らなければなりません。特に脳にとって重要なのはビタミンB群です。ビタミンB1は糖質のエネルギー燃焼に必要です。不足すると関節などに神経障害が出る場合があります。ビタミンB12は神経伝達物質として作用しているためです。

ブドウ糖をたくさん摂ってもビタミンB1が少ないと、不完全燃焼して脳に十分なエネルギーが行かないので精神状態が不安定で、イライラして気分が乗らなかったり、勉強にも集中できません。また、筋肉に乳酸などの疲労物質がたまって疲れやすくなります。

甘いジュースやスナック菓子の食べすぎはビタミンB1の消耗を多くし、疲れやすくなるだけです。ビタミンB12は脳が正常に機能するのに必要です。神経繊維を再生し、切れた神経繊維を修復したりする働きがあります。造血のビタミン、貧血のビタミンなどともいわれています。不足すると疲れやだるさ、無気力、イライラなど精神的なトラブルに陥ることがあります。記憶力や集中力も低下します。

ビタミンB1が含まれていますから、胚芽ご飯や玄米ご飯、麦ご飯などにするのもよいでしょう。

ビタミンB12を含む食品は卵、牛肉、豚肉、レバー、チーズ、牛乳、魚介類などです。



### <豚肉と大根のスープ>

#### 【材料8人分】

- 豚バラスライス肉…250g(3cm長さ)
- 大根……………250g
- 人参……………100g
- 花椒……………5~6粒
- 長ねぎ(斜め切り)………20cm
- 生姜薄切り……………2枚
- 鶏ガラスープ……………カップ9杯

- A { 料理酒……………大さじ1  
塩・コショウ……………各少々  
老酒……………小さじ2
- (たれ)  
しょうゆ……………大さじ2+1/2  
豆板醤……………小さじ2  
ごま油……………小さじ2  
酢……………大さじ1  
おろし生姜……………小さじ1



#### 【作り方】

- ①大根と人参は縦4cm横1cmの短冊切りにする。
  - ②鍋に鶏ガラスープと①と豚肉、花椒を入れて煮、豚肉は火が通ったら鍋から一度取り出しておく。
  - ③大根と人参がやわらかくなったら長ねぎ、生姜、Aを加えて煮る。
  - ④②の豚肉を鍋にもどす。
  - ⑤器に人数分に分けて盛り、たれの材料を合わせて添える。
- ☆豚肉には糖代謝を促進し疲労回復に働くビタミンB1が豊富です。また大根に含まれるイソチオシアネートは、ファイトケミカル。この2つの食材を使い、生姜やねぎなどの薬味を効かせた中華スープをどうぞ。生姜に含まれるジンゲロン、長ねぎに含まれるアリシンには強い殺菌成分と抗酸化作用があり、体のサビを招く活性酸素を撃退する効果があります。体が温まり、血液の流れも良くなります。

豚肉の  
ビタミンB1と  
大根の  
ファイト  
ケミカル

### <鶏肉のしょうゆマヨネーズ炒め>

#### 【材料8人分】

- 鶏むね肉……………3枚(600g)
- 塩・コショウ……………各適量
- サラダ油……………適量
- ニンニクのみじん切り……………小さじ2

#### 【作り方】

- ①鶏肉は皮目に塩、コショウをふり、手でよくすり込んで下味をつける。
  - ②人参は皮をむいて、白菜とともに細切りにする。どちらも水に放してシャキッとさせ、水気をきる。
  - ③ポウルにAを入れて混ぜ合わせる。
  - ④フライパンにサラダ油を熱し、①の鶏肉を皮目を下にして入れ、返ししながら2~3分かけて焼く。取り出して一口大に切る。1人分3切れ。表面はカリッと、中はレア状態がよい。
  - ⑤④のフライパンの汚れをペーパーでふいて火にかけ、ニンニクみじん切りを入れて香りが立つまで弱火で炒める。④の鶏肉を戻し入れて炒め、③の合わせ調味料を加えからめながら、火がとおるまで炒める。万能ねぎを加えてさっと混ぜる。
  - ⑥各皿に②の野菜を敷き、その上に⑤を盛る。
- [ポイント]  
まだ完全に火が通っていない鶏肉に、合わせ調味料をからめながら炒めて中まで火を通す。

- A { マヨネーズ……………120g  
しょうゆ、酒……………各大さじ2  
七味唐辛子……………少々
- 万能ねぎの小口切り……………4本位  
人参……………1/4本  
白菜……………1/4個



### <サケ中骨とキャベツの卵とじ>

#### 【材料8人分】

- サケ中骨(缶詰)……………2個
- キャベツ……………250g
- 玉ねぎ……………200g
- しめじ……………1パック
- 出し汁……………200cc
- 卵……………2個

- A { しょうゆ……………大さじ2  
料理酒……………大さじ2  
砂糖……………大さじ1  
塩……………小さじ1  
生姜千切り……………3枚分

#### 【作り方】

- ①キャベツは短冊に切る。
- ②玉ねぎは、縦の薄切り、しめじは小房に分ける。
- ③出し汁にAの調味料を入れて煮立て①を入れて4~5分煮る。
- ④サケ中骨の缶詰を汁ごと入れて、全体にほぐし、生姜を入れる。
- ⑤味を調べ、溶き卵を回しかける。



### <白インゲン豆とブロッコリーのトルコ風サラダ>

#### 【材料8人分】

- 白インゲン豆……………2カップ
- 赤たまねぎ……………1個分
- ブロッコリー……………小房に分けて8個
- ゆで卵……………2(1/4カット)
- イタリアンパセリ…約4房(粗みじん)
- ミニトマト……………8個(1/2カット)

#### 【作り方】

- ①白インゲン豆は一晩水に漬けて戻し、やわらかくなるまでゆで、冷ます。ブロッコリーは小房に分けて、塩を入れた熱湯でゆでて、冷水で冷やし水分を切る。
- ②赤たまねぎはスライスし、イタリアンパセリは粗みじん切りにする。
- ③白インゲン豆、赤たまねぎ、イタリアンパセリと白インドレッシングを混ぜ合わせ、器に8人分に分けて盛り、くし切りのゆで卵とミニトマト、ブロッコリーを彩りよく飾る。

- (白インドレッシング 約60cc)  
オリーブオイル……………大さじ6  
白ワインベネガー……………大さじ2  
レモン汁……………小さじ2  
塩、コショウ……………少々  
赤とうがらし……………少々



### <シナモン・くずだんご>

日本のくずと西洋のシナモンの国際交流。ほのかに香るシナモンがシロップの味を引き立てます。

#### 【材料8人分】

- くず粉……………200g
- 砂糖……………大さじ3
- 水……………600cc

- A { メープルシロップ……………1カップ(200cc)  
水……………600cc  
シナモンスティック……………1本

#### 【作り方】

- ①Aを小鍋に入れて火にかけ、煮立ったら、3~4分煮て、そのまま冷やしておく。
- ②鍋にくず粉と砂糖を入れ、水を少しずつ加えてダマがなくなるまで混ぜる。弱火にかけて木ベラで透明になるまで練る。
- ③すぐ冷水の中に入れてしっかり冷やし、一口大ずつ手でちぎる。水気をきって器に入れ、冷やした①のシロップをかける。あれば、ミントの葉やみかんなどをトッピングする。



### お料理教室(2020年2月1日実施)アンケート

- 身近にある食材でご馳走が作れて感激しています。
- スープは、早速作ってみたいです。
- 鶏肉のしょうゆマヨネーズ炒めがとても柔らかくおいしかったです。
- 日頃自分では作らないメニューを教えていただきありがとうございました。
- 学年を超えて保護者と交流を持てる機会がとても良かったです。
- 高校生に必要な栄養素を意識してメニューを作って頂き、ありがとうございました。
- ビタミンBを摂れる料理ということで参考になりました。野菜もたくさん食べられておいしかったです。



# 第12回 庭園見学会報告



顧問 門馬 進

教育後援会の事業の一つである庭園見学会が行われました。毎年開催され、12回目となり、今年、11月23日(土)に南青山にある根津美術館にて行われました。



当日は、雨降りのあいにくの日となりました

が、多くの参加者を得て、盛大に催すことが出来ました。美術館は、営団地下鉄「表参道駅」から歩いて7,8分の所にあります。A5の出口から外へ出ると、そこはもう、東京でも有名なおしゃれなお店の立ち並ぶ、華やかな通りです。コムデギャルソン、スイス建築家の独特な設計のプラダビル、カルチュエ、スイーツのヨックモックを過ぎ、安藤忠雄氏デザインのコレツツィオーネビルまで来ると美術館は目の前です。交差点の向こうに竹林に囲まれた大きな瓦屋根の建物が見えます。横断歩道を渡り、入口を入ると左側はびっしりと張られた竹の建築壁面、右側は道路と隔てる本物の竹林、上はコンクリートのひさしの長い廊下状・半屋外のアプローチ空間です。奥に進むと駐車場を兼ねた前庭があり、それに面して正面玄関があります。当日は雨降りでしたので、濡れない長いひさし部分に、係の人の許可を得て集合しました。



午後2時集合。参加者は、伊本会長をはじめ、益田先生、連絡係の今田先生、近藤先生、後援会の役員さん、保護者の皆様など合わせて54名となりました。美術館エントランスホールで伊本会長の主催挨拶、終了の集合時間を伝達し、見学を開始しました。



根津美術館は、東武鉄道の社長などを務めた実業家・初代根津嘉一郎(1860～

1940)が蒐集した日本・東洋の古美術品コレクションを保存し、展示するためにつくられた美術館です。所蔵品の数は、平成28年3月末時点で、国宝7件、重要文化財87件、重要美術品94件を含む7420件にのぼります。有名な尾形光琳の「燕子花図」が所蔵されています。残念ながら「燕子花図」の展示はありませんでした。見学する庭園の茶室前の池に多くの燕子花が、見事な花を咲かせる4月末頃のみ展示されるそうです。是非その頃にまた来たいと思いました。

2009年に新装された和風家屋を思わせる大屋根が印象的な本館は、地上2階・地下1階の構造で、新国立競技場設計の建築家・隈研吾氏によるものです。見学当日は、「川上 不白・生誕300年『江戸の茶の湯』特別展」が開催されていました。1階の特別展示室に江戸千家の創始者・茶人川上 不白の生涯を通した茶道具、書画などと関連した京都の千家十職の楽茶碗なども多数展示してありました。2階に上がると常設展です。黄金色に燦々と輝く宝飾時計、中国古代の青銅器の不思議な造形に目が奪われます。

この根津美術館には、大都会・東京のど真ん中・おしゃれな華やかな空間から、いきなり「深山」にレポート(瞬間移動)し、「幽谷」を回遊する不思議な庭園があります。美術館1階の



庭園口か地階の茶席口から庭に出ます。当日は雨降りでしたが、たくさんの傘が用意されていました。敷地は、想像以上に起伏があり、すり鉢状です。一番低い谷底部には細長い池が配されています。多分、初代根津嘉一郎は、池というより谷川の一部を切り取ったものとイメージし(幽谷だから)、その周りの傾斜地の木々の間に4つの茶席(弘仁亭 / 無事庵、閑中庵 / 牛部屋、被錦斎 / 一樹庵、斑鳩庵 / 清溪亭)を配置しています。庭園の木々は濃密です。先を見通せない石畳の小路、階段をくねくねと巡り、趣のある灯籠、つくばい、竹林などを楽しみながら各茶席を訪ねます。

また当日は、川上 不白の特別展ということで、和服に渋いお色の雨コートお召しになったご婦人方が多数ご来場されていました。多くの茶道関係者が来られているなあと感じています。皆さま雨のお庭に、次々列を作って御出ましなされていました。気が付くと各茶室に灯がともされ、宗匠姿のお師匠様も到着してお茶会の準備に専念しています。そういえばこの庭園の茶室4席は、審査はあるようですが、貸し出し可能とのこと。土曜日の夕刻、川上 不白を偲んだ茶会が始まろうとしていました。

根津青山・嘉一郎は明治39年に起伏に富んだこの地を気に入り、「深山幽谷」の趣のある庭園を造りました。谷川風の池に、浮かんでいるように見える舟形の茶席の傍らに立つと、嘉一郎の目指した「深山幽谷」というコンセプトが、心にしみ込みます。



しかし森閑とした庭園に、色鮮やかな着物が交錯する茶会が突然繰り広げられます。それを物珍しそうに近年急増している外国人旅行者がのぞいています。水墨画の山水画から彩色の南画、錦絵の世界になり、西洋人も登場してカラーの風景画のようにも出てきました。「深山幽谷」というコンセプトも21世紀の国際都市TOKYOと対照をなし、不思議な光景に変化し、いかにも東京らしいと思いつつ、庭園から美術館内に戻りました。たくさんの入館者が、右往左往する雑踏、大都会の美術館という現実の時空に舞い戻り、ほっとしている自分がそこには、いました。

約束の終了時間に皆様、三々五々と集まり、伊本会長より締めのご挨拶をいただき、恒例の集合写真を撮り、本年の庭園見学会を終了・解散しました。ただ今回の庭園見学の場所が、あまりに楽しそうな場所がありましたので、皆様お帰りは真直ぐにはいかんかったと思います。ありがとうございました。

